

令和3年度 宜野湾市地域学校協働本部(宜野湾市)

構成学校	市内9小学校、4中学校(普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校、宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校、普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校)				
開始年度	平成21 年	登録ボランティア	60 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	10 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	市内小中学校	連携機関・団体	PTA、自治会、地域農家の方など	

◆代表的・特徴的な活動

- ・給食配膳の補助(1年生)
- ・家庭科でのミシン操作補助、ナップザック作り
- ・体験学習、キャリア教育の企画・支援
(手話講座、レンコン教室、環境関する講座、臨床美術講座、マナー学習、うちなあぐち講座、エイサー指導など)
- ・水あそび(1年生プール授業)、着衣水泳教室の支援
- ・交通安全見守り
- ・校医検診の補助
- ・畑づくり、校内環境整備
- ・学習支援活動(地域未来塾。個別・授業に入っの補助等)



給食配膳の補助
(普天間小学校)



大綱引き絵のコンクール
(大山小学校)



レンコン教室
(はごろも小学校)



マナー講習会
(真志喜中学校)

◆工夫していること

- ・地域学校協働活動推進員間の情報交換の場を設けている(定例会、SNS)。
- ・コーディネートスキルアップのため、国・県などから紹介されたオンライン講座・研修を推進員に紹介している。
- ・地域の多様な人や資源をつなげる「地域コーディネーター養成講座」(市・市教育委員会共催)に参加を呼びかけている。



第1回定例会
(兼委嘱式)

◆成果と課題

- 【推】推進員間においてSNS等の活用により情報共有がスムーズになっている。また、推進員間のサポートも増えてきている。
- 【推】小規模だが、ボランティア育成の活動も行っている推進員がおり、今後の広がり期待している。
- △【本部】学校での協働活動についての認知度・推進員の活用は広がってきているが、地域の認知度はまだ低い。更なるPRが必要と感じている。
- △【学校・本部】推進員の後任人材発掘に苦慮している。
- △【推・学校・本部】コロナ感染症の影響により、ボランティア活用がうまく出来なかった。